

「食育体験シリーズ～地域文化の伝承～ 第2回なれずし作り」

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
30名	29名	29名	29名 (福井11, 滋賀6, 京都3, 岐阜4, 兵庫5)

2. 事業内容 (概要)

◆ねらい

- ・若狭地方の伝統的スローフードを通して食文化についての理解を深めるとともに, 地元ならではの食文化の大切さを発見する。
- ・地域や他施設との連携を図るとともに, 合同事業としての事業展開を想定したプログラムの企画・運営を行う。

◆期日・期間

2017年11月3日(金)～ 11月4日(土) 1泊2日

◆後援・協力団体

後援：福井県教育委員会・小浜市教育委員会・若狭おばま観光協会・福井新聞社  
協力：田烏観光協会・福井県海浜自然センター・たがらす我袖倶楽部

◆参加者分析

食育シリーズ第1回へしこ作りに参加された24名と初めて参加された5名の合計29名で開催された。

◆企画のポイント ◇プログラム

	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
十一月三日(金)		受付	はじまりのつどい	食文化探訪 なれずしの話	魚さばき なれずし作り	C 旅館でゆつくり	B 田烏名所めぐり	A 釣り 田烏漁港	【選択活動①】	食事	自由入浴	就寝
		7	8	9	10	11	12					
十一月四日(土)		起床・洗面	朝食 荷物片付け	活動準備	なれずし作り	おわりのつどい	G 帰宅	F 海浜自然センター	E シーカヤック体験	D へしこ料理教室	【選択活動②】	

◇「なれずしづくり」講師 田烏区漁家 森下佐彦氏

○事業の特色

この事業の特色は春に自身で漬けたへしこを使って、若狭地方の伝統的スローフードなれずし作りを体験できることである。また、魚の捌き方も講師の方から学ぶことができ、自身の生活の中で活用することができる。

○今年度の位置づけ

地域の特徴でもある漁家とその食文化を活用した事業として企画・実施してきた。内容としてはなれずし作りとへしこ料理教室などをメインとして企画した。さらに釣りや田鳥名所めぐりやシーカヤックなど地域の特性が活かせる内容を企画した。田鳥の名所めぐりでは、永源寺内の見学と住職さんから百人一首の歌の作者の二上院讃岐姫の話をしていただき地域の歴史にも触れてもらえる機会を新たに持った。

◆運営のポイント

本事業は、地元小浜市田鳥区の観光組合・民宿漁家と協力しながら実施している。そのため、漁家民宿の代表の方との連絡を密に取った。また、漁家の方々のご好意で、1日目の磯釣りで釣った魚を調理していただくこともできた。

また、へしこ作りに引き続き、参加者が分散せずに活動が進められるように、旧田鳥小学校の校舎を利用して活動することとし、各漁家へは宿泊することのみとした。地域の施設を活用するため、スタッフと参加者、各漁家がうまくコミュニケーションがとれるように、職員・スタッフを適切に配置した。

◆安全管理のポイント

へしこの皮むきや、干物作りで魚を捌く時には刃物を使う。その時は漁家の方々の指導と協力を得て、十分に注意が必要であることやさばき方のこつなどを教わり、安全に作業できるようにした。また、ボランティアやスタッフを適宜配置して、全体に目が行き届くようにした。

田鳥漁港での磯釣りの体験では、磯釣りにおける危険について説明し、安全に活動ができるようにスタッフから事前に指導した。監視体制としては、担当スタッフ、ボランティアに加え、当施設の看護師も配置した。

3. アンケート結果

(1) アンケート

参加者 (大人)	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	85%	15%	0%	0%
なれずし作りはどうでしたか	70%	30%	0%	0%
魚さばきは どうでしたか	75%	20%	5%	0%
日程・運営について	75%	25%	0%	0%
指導・助言について	90%	10%	0%	0%

4満足 3やや満足 2やや不満 1不満

(2) 参加者の声

- ・釣りのときにスタッフの方と会話ができ、適度な距離感が保てて良かった。
- ・活動しやすい会場を用意して欲しかった。
- ・事業を続けてほしい。
- ・次回も参加したい。
- ・民宿にバスタオルがなかったので、必要な物の記載をして欲しい。
- ・移動の手段を明記して欲しかった。

## 4. 成果と課題

### (1) 成果

- ・何度かへしこ作りやなれずし作りに参加された方が、今回初めて参加された方にやり方を説明されており、今までの事業での経験が生かされていた。
- ・なれずし作りやへしこ作りの材料となる鯖について、養殖の技術が進み、少しずつ育っているなど、鯖をとりまく現状についても参加者に知ってもらうよい機会となった。
- ・田鳥の名所めぐりを企画実施することで、百人一首で有名な二上院讃岐についても知ってもらい、地域の歴史にも目を向けてもらい地域に親しみをもってもらえた。

### (2) 課題

- ・近隣施設と協力する機会を増やし、幅広い内容で事業を展開できるようにしていくことが必要であると感じた。特に食に関心が高い人達が集まっているので、新規で食に関連する事業内容を追加して進めてもいいのではないかと思った。
- ・旧田鳥小学校のなれずし工房にて全ての作業ができるようになっていたが、今回他団体との調整がつかなくて体育館での作業になったため作業内容が省略されたので、他団体の調整をしっかりと行うことも大事だが、確実に作業できるスペースの確保をしていくことが大切であると強く感じた。
- ・参加者がほぼ定員で実施できたが、リピーターに支えられている面が大きい。今年度も昨年度に続き、越前市の全小学校にちらしを配布したが参加者はなかった。広報に関しても、鯖や食に関連する関連施設に協力してもらいチラシの配布の協力も得られるようにするなど、関心のある人にチラシや情報が届くような工夫も必要だと思った。

## 5. 活動の様子



【講師の話】



【なれずしの試食】



【1日目なれずし作り】



【1日目なれずし作り】



【ロープワーク】



【名所めぐり】



【釣り】



【2日目なれずし作り】



【2日目なれずし作り】